

拠点形成研究交流報告： 中国・揚州大学との合同オンラインセミナー

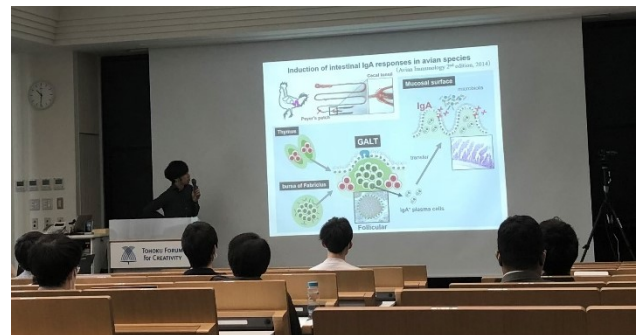
“International Joint Seminar Yangzhou univ. × Tohoku univ.” を開催しました。

東北大学農学研究科は、揚州大学動物科学技術大学院(中国)と大学間協定を締結しており、これまで活発な研究交流を行ってきました。しかしながら昨年度(令和2年度)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年行われていた揚州大学からの訪問留学が中止となり、これまでと同様の形での大学間交流の継続が難しい状況となりました。そこで、After / With コロナの時代において新しいスタイルの国際交流を実施すべく、今年度からの新しい取り組みとして、東北大と揚州大とのオンライン合同セミナー“International Joint Seminar Yangzhou univ. × Tohoku univ.”を実施しました。本セミナーは東北大学知の創出センターの支援を賜り、知の館・レクチャーシアターの設備を活用した仙台-揚州間中継型のオンライン形式にて開催されました。東北大学・機能形態学研究室から2名(古川睦実さん、平川良太さん)、揚州大学・趙国琦教授の研究室から2名(HU ZIXUANさん、OSMOND DATSOMORさん)の計4名が研究発表を行いました。機能形態学研究室は組織学/免疫学、趙国琦教授の研究室は栄養生理学/飼料科学を専門としているため、国際交流のみならず異分野間交流でもありましたが、双方のフロアから多くの質問が上がり活発な意見交換が行われ、学生たちにとって大変有意義な機会になったと感じております。最後にはオンライン記念撮影を行い、セミナーは和やかな雰囲気ですべて締めくくられました。今後は本国際合同セミナーを3か月に1回のペースで実施し、コロナ禍においても東北大学と揚州大学との研究交流を活発に行っていく予定です。この場を借りて、JSPSの研究拠点形成事業からのご支援に感謝申し上げます。

内野紗江佳、伊東加織、野地智法(東北大学大学院農学研究科、食と農免疫国際教育研究センター)



開催地：東北大学片平キャンパス 知の館



発表中の様子：平川良太さん (D2)



セミナー終了後：オンライン集合写真撮影